

去る平成29年3月18日、國學院大學合気道部金澤威師範就任20周年謝恩会が院友会館にて開催された。

まず、謝恩会に先立ち金澤先生指導の下記念稽古が行われた。5号館多目的ホールには現役部員のみならず学生時代先生にご指導頂いた多くのOB・OGが集い、とても活気に溢れる稽古となった。特にOB・OGは、卒業して間もない者、現在も合気道の稽古を続けている者、そして久しぶりに道着に袖を通す者と様々ではあったが、皆一様に現役時代を思い返しながら金澤先生の指導に聞き入り、そして多少の息切れを混じえつつも爽やかな汗を流した。



金澤先生も、「久々の人が多いから、ゆっくりやろう」とのお言葉を稽古開始前いただいたが、熱が入り、稽古時間も60分から90分に延長。最後は自由技を全体で行い、稽古会は幕を閉じた。

そして、引き続き開催された謝恩会では更に多くのOBが集い、総勢で50名以上の大盛会となった。平成8年に金澤先生が師範に就任された際にはじめに指導を受けたのは、40期の先輩方であった。この度の謝恩会では42期広瀬監督を中心に43期渡邊コーチ、47期中坪コーチを発起人として、40期以降のOB・OGが積極的にそれぞれの同輩に声掛けをすることで、盛大な会を実現することができた。



謝恩会では、開会前から久しぶりに会う先輩・後輩そして同期とお互いの近況を伝え合う姿があちらこちらで見られ、とても和気藹々とした和やかな雰囲気であったが、いざ金澤先生のご到着になると、みな笑顔と懐かしさそして少しの緊張を織り交ぜた表情をしつつ、盛り上がりは最高潮に達した。会の冒頭、金澤先生からこの20年を振り返ってのご挨拶を頂戴し、そして40期原田先輩の音頭

で乾杯の杯をあげると、皆待ちかねたかのように金澤先生のものを訪れ、自らの近況を報告しつつ賑やかに思い出話に花を咲かせた。



で乾杯の杯をあげると、皆待ちかねたかのように金澤先生のものを訪れ、自らの近況を報告しつつ賑やかに思い出話に花を咲かせた。



44期武藤（前川）の司会で会場内も一層の盛り上がりを見せる中、44期山口（根本）、49期桑尾、51期鳥居厚、和田らが登壇し、金澤先生とも思い出を披露した際には、先生も「そんなこともあったな～」と思い出の引き出しを一つずつ開けるように、頷きながら熱心に耳を傾けておられた。各々途中幾度となく笑いを誘いながらも話が進むにつれて、先生と会場に集った仲間達の『あの日の合気道部』が少しずつ呼び起こされていった。

また、47期中坪が寝る間を惜しんで作成したという、40期から現役に到る各代の写真を集めたスライド上映では、金澤先生も身を乗り出して「これは〇〇じゃないか」「●●も若かったな」などと自ら解説に加わるなど、金澤先生と国大合気道部の思い出の深さを実感せずにはいられなかった。

途中51期有志より、金澤先生へ記念の色紙と「先生が好きらしい・・・いや好きだったはず!？」というチリ産赤ワインが贈呈され

（後ほど先生に確認したところ、確かに一時期とてもチリ産ワインを好んで飲んでいたので）、引き続き合気道部からも記念品が43期渡邊コーチより贈呈された。





そして会場の熱気も冷めることを知らないまま、あっという間に時は過ぎ、最後には再度金澤先生よりお言葉を頂戴し、金澤威師範就任20周年謝恩会は幕を閉じた・・・かに見えたが、そこは金澤門下生、一次会で終わるわけもなく金澤先生ご参加の下二次会のため夜の渋谷へと繰り出していった・・・。

